

(質問)

地震は予知できるのでしょうか。

(回答)

地震の予知とは、「いつ・どこで・どのくらいの規模」の地震が発生するかを予測することですが、地震の予知には2つの意味があります。

1つは、「この地域（あるいは活断層）はそろそろ地震が起きてもおかしくない、起こるとすればM7程度」というのがありますが、これは地震が発生する地域、規模及び発生の可能性（時期は現在を含む未来）を示していますから「長期的予測」とします。

もう1つは、「この地域（あるいは活断層）は数日中にM7程度の地震が起こる」というものですが、これは地震が発生する地域、規模及び時間範囲を示していますから「短期予知」とします。

「短期予知」ができる可能性があるのは、現在の科学技術レベルからすれば、M8級の地震であり、長期的予測が的確になさされていて、各種の観測が継続的になされる場合です。更に、異常な現象があれば、それを見逃さず、社会に伝えるシステムが必要です。現在、これらの条件が整っているのは「東海地震」だけです。

「東海地震」は、過去の地震発生状況の調査、精密な地震・地殻観測などから、予知するための資料が蓄積されており、直前予知（地震発生の数時間から数日以内に予測する）が可能な場合があるとされています。

なお、①大規模な地震あるいは被害地震の後、②地震活動が実際に通常と違う場合、③地震に関する情報が誤解された場合等に「○月○日に大地震が起きる」または「●日●時に●●で震度●の地震が起きる」などと流言が広がることがあります。「東海地震」以外は、地震の発生を時期・場所・規模（震度）まで指定して予測することは不可能ですから、このような流言を信じたり、広げたりしないようにしましょう。

(問い合わせ先)

連絡先	甲府地方気象台
担当	防災業務課
電話	055(222)9101